

# 忍野村立学校施設中長期マネジメント計画

平成30年9月

忍野村教育委員会

## 目次

第1章	学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
第1節	背景	1
第2節	目的	1
第3節	計画期間	2
第4節	対象施設	2
第2章	学校施設の目指すべき姿	3
第3章	学校施設の実態	4
第1節	学校施設の運営状況・活用状況等の実態	4
第1項	対象施設一覧	4
第2項	園児・児童・生徒数及び学級数の変化	5
第3項	学校施設の配置状況	11
第4項	施設関連経費の推移	12
第5項	学校施設の保有量	13
第6項	今後の維持・更新コスト(従来型)	14
第2節	学校施設の老朽化状況の実態	16
第1項	構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価	16
第2項	今後の維持・更新コスト(長寿命型)	25
第4章	学校施設整備の基本的な方針等	27
第1節	学校施設の規模・配置計画等の方針	27
第1項	学校施設の長寿命化計画の基本方針	27
第2項	学校施設の規模・配置計画等の方針	29

第2節	改修等の基本的な方針.....	29
第1項	長寿命化の方針.....	29
第2項	目標使用年数、改修周期の設定.....	29
第5章	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等.....	31
第1節	改修等の整備水準.....	31
第2節	維持管理の項目・手法等.....	33
第1項	点検業務.....	33
第6章	長寿命化の実施計画.....	36
第1節	改修等の優先順位付けと実施計画.....	36
第1項	改修等の優先順位付け.....	36
第2項	実施計画.....	37
第2節	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～	39
第7章	長寿命化計画の継続的運用方針.....	48
第1節	情報基盤の整備と活用.....	48
第2節	推進体制等の整備.....	51
第3節	フォローアップ.....	51

※記載数量について  
本計画で取り扱う数値は四捨五入の端数処理をしているため、表記される合計は一致しない場合があります。

# 第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

## 第1節 背景

忍野村の学校施設は、本村の建築系公共施設の総延床面積の約4割を有しています。築30年以上、築20年以上30年未満の建物がそれぞれ全体の24%、66%を占めていることから、老朽化による建物自体の寿命や設備の不具合等の問題が顕在化しつつあります。特に、中学校については同時期に集中的に整備されたことから今後、大規模改造や改築の必要性が同時に発生するおそれがあり、多額の費用が見込まれるので、他の施設の維持管理も含め、本村全体の財政計画に基づいた適正な維持管理も課題となっています。

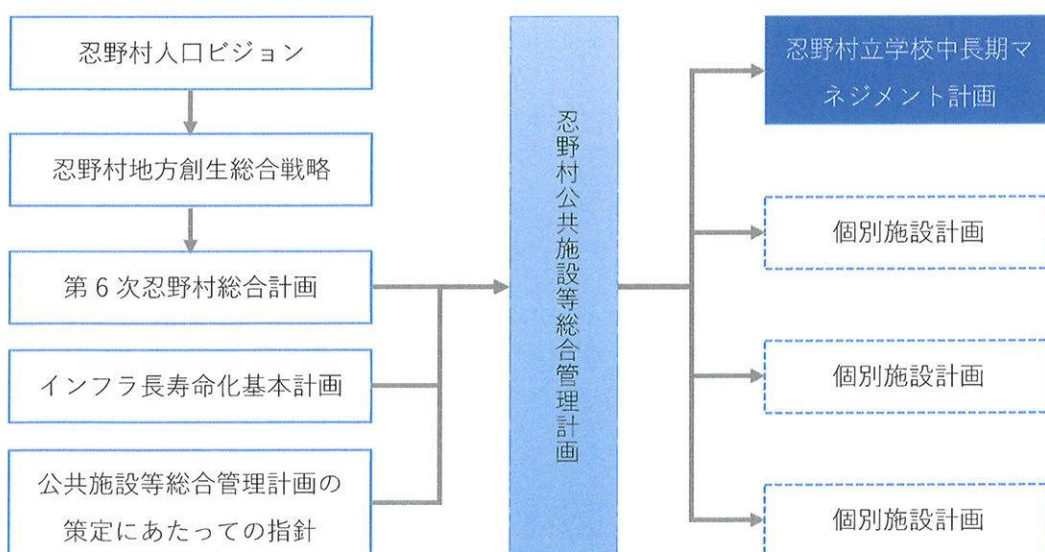
## 第2節 目的

「忍野村立学校施設中長期マネジメント計画(以下「本計画」という)」は、これまでの施設整備の背景を踏まえ、長期的視点を持って持続可能な学校施設の管理運営が行えるよう、長寿命化及び適切な更新、改修・改築等を検討し、教育機能の強化を図ると共に、これに要するコストの縮減及び平準化を図ることを目的とします。

なお、本計画は「忍野村公共施設等総合管理計画(以下「総合管理計画」という)」(平成29年3月)を上位計画とし、学校施設の個別施設計画と位置づけます。

(「総合管理計画」では、忍野幼稚園、忍野小中学校教員住宅はそれぞれ子育て支援施設、住宅施設に区分されていますが、本計画では学校施設として計画します。)

図 1-1 計画体系



### 第3節 計画期間

---

計画期間は2019年度を計画初年度とし、2058年度までの40年間とします。また、10年ごとに見直しを行うこととしますが、社会環境の変化や法制度の改正など、必要が生じた場合はその都度随時見直しを行います。

### 第4節 対象施設

---

本計画における対象施設は、以下の通りです。

表 1-1 対象施設一覧

学校教育施設	施設数
幼稚園	1園
小学校	1校
中学校	1校

学校給食共同調理場	施設数
共同調理場	1施設

住宅施設	施設数
教員住宅	1施設

## 第2章 学校施設の目指すべき姿

「忍野村教育大綱」(平成27～29年度)では基本理念として、「豊かな心を育てる人づくり」を掲げています。また、基本方針の一つに「幼児・学校教育の推進」があり、具体的に以下の7つの方向性が示されています。学校施設のあるべき姿としては、この目標を実現するために必要な機能や性能を備えることが求められます。

図 2-1 「忍野村教育大綱」と学校施設の目指すべき姿

